



社員教育と新しい企業基準におけるグローバル市場への参加の必要性

黒田インターナショナルコンサルティング

黒田 毅

社員教育において、能力の育成を、世界のトップビジネスマンと同等に与えることは必ず可能である。それらは一つ一つの理解を与え、その全てに対する理解と知識において、能力の育成を与えることができるのである。

これらは現実変化が大きい中、グローバル市場における統一した理解と基準が存在することにおいて、企業の転換は必ず要求されるのである。

これらは社員教育と共に企業基準の転換は、新しい現実への参加を可能とする。これらは人材において中小企業においても技術と製品、システムにおいて新しい市場における受領は可能なのである。

これらは明確に、新しい現実基準が存在し、それらにおける自己参加が、新しい市場環境における可能性を模索することができるのである。

これらは企業経営が、人材の育成を、その理解の構築において与え、それら理解が、新しい現実を創造することができるのである。

これらは企業が有する共有の理解性に対して、新しい現実の洗礼が存在するのである。これらは、新しい市場という現実が有する遥かに高い技術基準において、企業の生き残りにおける企業に対する要求は遥かに大きなものなのである。

これらの要求と基準をクリアすることで、新しい企業活動がその創造性と共に、大きな可能性を許容するのである。

これらは学習体験が、企業の可能性を拡大し、それらの必要性は唯一企業経営を可能にすることは正しいのである。

これらは他方において、企業の新たな挑戦という現実を提起する。なぜならば新しい起業家たちの高い創造性は、市場において大きな現実を既に有するからである。これは全ての企業がこれらを可能とすることは、未来における新しい現実を可能とすることを提案したい。